

医療法人愛生会 年報

ANNUAL
REPORT

2 0 2 1 年
～ 感謝の会 ～

医療法人愛生会

私たちの理念

- お互いの人生観を尊重し、人生をより豊かにします

私たちの運営方針

- 利用者第一主義の医療と福祉サービスを提供することで、国と地域社会に貢献します

私たち職員一人一人の使命

- 利用者と家族の満足度向上を追い求めます
- 提供する医療やサービスの安全性と質の向上を目指します
- 業務の効率化を図ります
- 職場環境の改善を図ります
- 経営改善を心がけます
- 仕事のやりがいを共有します

医療法人愛生会 2021 年 年報

～ 感 謝 の 会 ～

- 理事長あいさつ
- 各部所属長あいさつ
- 今年一年の動き（各データ）
- 入職者紹介
- 永年勤続者紹介

愛生会 2021 年 12 月 感謝の言葉

理事長 村井 映

2021 年も残り数週間となりました。

愛生会という船は、ゆっくりとですが今も前進を続けています。

乗組員であるみなさんの、地道な努力と献身のおかげだと思います。

本当に 1 年間、お疲れさまでした。

私たちの仕事はスポットライトを浴びたり、M V P に選ばれたりはありませんが、みなさんに感謝、感謝、感謝です。

船の中からはあまり感じませんが、外の世界は大きな変化の波に見舞われています。

特に新型コロナウイルスの流行は未だ先を見通せない状況です。

先日テレビで若い男性が「早くコロナが終わればいいのに！」と言っているのを観ました。

彼の言葉からは、早く平和な元の生活に戻ってまた自由を満喫したい！という気持ちが伝わってきました。

ただ、そうは言ってもコロナウイルス自体は人類誕生のはるか以前から存在しているわけで、地球上の自然界では向こうがはるかに先輩です。

新型コロナウイルスのパンデミックも地球温暖化も、どちらも自然現象の脅威です。

それを理解せずに安易な犯人探しをしてしまう風潮がありますが、なんの解決にもならないでしょう。

平時に比べ、非常時には、人や組織の真の力が試されます。

困難な状況でどう振る舞うのか、自分の本当の姿が見えてきます。

パニックになったり、信頼性の低い情報に惑わされたり、誰かに当たったり、疑心暗鬼に陥ったり、そういう振る舞いは慎みたいと思います。

どんなに時代が進んでも、自然への感謝と謙虚な姿勢が必要だと感じます。

私達一人ひとりの行動や生活様式が、パンデミックも温暖化も、進めたり抑えたりするはずです。

私が以前救急医療に携わって得た教訓は「一寸先は闇」ということです。

事故や急病に理由や前触れはありません。

今日のような平和な一日が明日も続く、というのは私達の勝手な思い込みに過ぎません。

備えと覚悟を忘れないようにしたいと思います。

危機管理を考える上で、「想定外」という言葉を用いることは、自分の想像力のなさを露呈していることになります。

日本も日本の医療システムも、平時には強いですが、感染症のパンデミックという危機には大変脆弱であることがよくわかりました。

来年も大小様々な波が私達を洗うと思います。

それを乗り越えていくには、愛生会の職員のみなさんお一人お一人がお互いに手をつなぎ合い、支え合って行く必要があります。

お互いがお互いの存在に感謝し合いながら仕事ができる、お互いの人生観を尊重し合える、そんな職場を作っていきましょう。

それが愛生会の理念です。

2021 年振り返りと未来に向けて

事務長 坂ノ上 洋一

《2021 愛生会のあゆみ》※抜粋

1 月	発熱外来・電話相談体制、病棟介護職員面談
2 月	訪問看護システムクラウド版・iPad 導入、水晶苑嘱託産業医契約、フリーWi-Fi 設置
3 月	医療従事者コロナワクチン接種開始、桜ライトアップ、電力会社変更
4 月	1 階職員用トイレ設置、水晶苑嘱託医委託契約
5 月	駐車場舗装・ライン引き工事、オリジナルお薬バック無料進呈、目標面接
6 月	高齢者コロナワクチン接種開始、美里町集団接種開始、部所属長面接
7 月	病棟ベッド 60 台入替、夏季賞与
8 月	コロナウィルス 5 波、職員・家族コロナ感染、総務課室・事務長室入替
9 月	ドライブスルーPCR 検査開始、栄養科職員トイレ改修工事、祝 100 歳表彰式
10 月	中間面接、インフルエンザワクチン開始、データ提出加算算定開始、安成医院コロナワクチン視察
11 月	介護医療院改修工事開始、東病院コロナ患者対応視察、部所属長中間面接
12 月	2021 愛生会感謝の会、コロナワクチン 3 回目接種開始、冬季賞与、病棟職員面談

今年も新型コロナウイルスとの闘いの 1 年になりました。

感染対策に明け暮れる日々、とくに新型コロナウイルスワクチン接種は初めてことばかりで大変苦慮しました。みなさんにもたくさんのご協力をいただきました。おかげで事故もなく院内感染を起こすことなく無事 1 年を終えられるようです。ありがとうございました。

大変でしたが、ワクチン接種を通して各部署がそれぞれの立場で考え、連携・協力の結果、チーム力が 1 ランクアップしたように思います。

コロナによって社会・生活・経済活動など良くも悪くも随分変わりました。私たちを取り巻く経営環境は今後さらに厳しいものになるようです。どう向き合って対応していくか、どう変われるか真価が問われます。

そこで、来年は「組織（チーム）力強化」「業務改善（ICT 化）の推進」「ルール（規則・マニュアル作り）」に注力します。

組織力強化は、リーダーを中心としたピラミッド組織の再構築。責任ある言動。明確な指示命令、報告・連絡・提案を行います。そこに必要なのは笑顔と感謝です。

業務改善により業務の効率化を図ることが必要です。積極的に ICT 化を進めます。そして少ない人数でも患者満足・職員満足に繋がります。

ルールを作ることで誰もが安心して業務に取り組み、仲間意識を生み出します。

最後に、私たちの理念「おたがいの人生観を尊重し、おたがいの人生をより豊かにします」を皆でもう一度理解し、行動をお願いします。

以上

2021 年振り返りと未来に向けて

看護部長 長木清美

2021 年も、残り少なくなりました。今年は、コロナウィルスに関する業務を中心に動いた 1 年でした。ワクチン接種により、感染者数を抑えることができ、自分の生活環境も少しずつまた変化しております。行政や、住民、施設との関りが大きく、職員の皆さまの連携・協力に感謝します。

今年の人・業務・物に関する看護・介護部の三つのイベントを挙げてみました。

(人)

・人事異動、新しい管理職の着任、新入職者（看護介護 2 名 2 病棟 6 名）
新しい職員との出会い、受け入れ態勢を整え、日々の指導。入職された方は、一生懸命病院に馴染んでいただき、現在全員が勤務していただいております。それぞれに感謝です。外来、病棟の副師長、主任の着任で、病院も画期的になっていくことを期待します。

(業務)

・コロナウィルスに関して：電話対応 発熱外来 ワクチン接種
新しい業務での、新しい取り組み。院内をはじめ、行政、住民、施設との対応で、本当に大変だったと思いますが、ワクチン接種では、ミスが起こることもなく無事に済みました。また、3 回目の接種が始まったばかりです。皆さんの協力をお願いするとともに、今後感染拡大した時の対応も、何とか乗り切れるようによりしくお願いします。

(物)

・ベッド 60 台購入、マットレス 15 台リース導入、敷シートの変更、吸引透明チューブのディスポ化
入院用ベッドのサイズが全て同じになりました。病室の空間が少し広くなり、マットレスの選択が容易にできる、エアマット使用時の隙間をなくすことができました。全てが電動ベッドではありませんが、安全で業務が少しでも円滑にできるようになったのではと思います。
また、職員からの声により検討することができた吸引チューブのディスポ化、多方面に視野を向けて試行錯誤することで導入ができました。そのような力を養えるように努力したいと思います。

私の環境で大きく変わったのは、教育担当の職員採用、そして同室での業務。とても刺激になっています。教育の基礎が不十分であり、現在は、机上の物で終わらないように次年度へ向けて取り組んでいます。日々の業務に追われている中で、日々の業務にいかに関与を取り込んでいくのかは課題ではありますが、やらなければいけないと思っています。現在の看護・介護の動向を各自が知り、それを仕事としてやっていくための情報発信をしていきます。

今年度の 3 月で、3 病棟師長が、定年退職をされます。看護学校、この病院での先輩であり、ずっと頼りにしてきました。とても寂しいです。しかし、2022 年はもうすぐです。新しい後任の師長、他部署の師長、看護・介護主任、副主任、そしてスタッフと温石の 2022 年を前進していきましょう。温石の理念でもあります、『尊重する』という言葉は、患者・利用者・ご家族・職員を対象に、自分が仕事をする上で、いつも心にとめることができるように、そうありたいと思っていますし、職員の皆さんもそうあって欲しいと願います。

「2021 年振り返りと未来に向けて」

介護医療院（1 病棟）師長

毎年思うことですが、1 年が過ぎるのが年々早くなっているように感じます。2021 年は昨年引き続き、新型コロナウイルスの対応に追われた印象があります。2020 年末より第 3 波が押し寄せ、お正月気分に入る間もなく新年が始まったような気がします。3 月より新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、職員から患者（利用者）、住民と担当部署は大変だったのではないかと思います。

1 病棟では 2021 年は改修工事という一大イベントがあり、11 月より本格的に工事が始まり、慌ただしい年末を迎えております。ただ、環境が変わるというのは大変なこともあります、楽しみでもあります。2022 年は新しい環境で、病院経営に貢献できるよう尽力したいと思います。

簡単ではありますが、2021 年の 1 病棟での活動をまとめてみました。

月	平均病床数	職員数	内容	効果
1 月	42.9	32	朝の流動注入時間変更 4 時→9 時	夜勤 Ns の負担軽減
2 月	42.6	32		
3 月	41.9	32		
4 月	39.6	32		
5 月	40	32		
6 月	38.3	32	CW 中勤業務開始 病棟会実施	CW 時間外削減 業務改善箇所洗い出し
7 月	39.1	32	業務改善アンケート 家族来棟方法の変更 体重計を購入	業務配分変更をスタッフ主導 で検討 家族面会希望時、受付、家 族の負担軽減
8 月	40.3	32	業務内容、配分の変更 外部の入所窓口を MSW へ一 本化 流動置き用ラックの購入	CM 業務負担軽減と入院入 所の効率化
9 月	39.4	32		
10 月	38.4	32		
11 月	37.2	32	改修工事開始	
12 月	37.1	32	家族へ年賀状の準備	

・病床数は 1 年間で 5.8 名/月減少しています。2021 年は病棟改修工事の関係で、病床数を調整する必要があり、介護医療院としての役割は果たせなかったかもしれません。

2022 年は居室、記録の電子化、ナースコールなど新しい環境での稼働となるので、新たな気持ちで一丸となって 1 病棟を盛り上げていければと思います。

・1 病棟では 1 年間離職者がおらず、1 年間安定した人員の確保が行えました。できる限り現場スタッフ主導で意見を出し合い業務変更等を行ってきました。自発的に変更案を提案してくれるスタッフも増え、働きやすい職場作りに貢献していただいています。

2022 年はまだどのような年になるかわかりませんが、変化していく環境に柔軟に対応すべく、スタッフ一人一人が考え、行動できる病棟をめざし愛生会の一員として尽力できるよう一丸になりたいと思います。

最後に、私も看護師長となり 2 年と 8 か月が過ぎようとしています。己の無力さを感じることも多いですが、周囲の方に支えられ何とかやっています。皆さんへの感謝を忘れない様、これからも邁進したいと思いますのでどうぞよろしくお願い致します。

2021 年は大変お世話になりました。2022 年もこれまでと変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

「2021 年振り返りと未来に向けて」

2 病棟師長

2021 年も残すところあと僅かとなりました。今年も昨年と同様コロナウイルスの流行で自粛することも多いですが、生活様式の変化に順応している自分がいます。今年ワクチン接種が普及し、感染者も減少したことで病棟にも賑やかさが戻ってきました。数ヶ月振りに面会制限が緩和されたことで患者さんご家族が笑顔で対面されている光景を目にすることで我々スタッフにも笑みがこぼれています。いつまでもこの状況が続くことを心から願っています。

今年一年の 2 病棟を振り返ってみると病床稼働率、利用率 90% を数値目標とし、新規入院患者月 15 名前後の受け入れを維持してきました。また、該当率 70% 以上を維持しつつ、さらに回転率を上げるため MSW と連携し入退院調整を行ってきました。予定入院以外に緊急入院やベッドコントロールのための急な転棟などイレギュラーなこともありましたが迅速に対応できたと思います。これは 2 病棟スタッフ全員の連携やチーム力はもちろんのこと、一人一人の能力、行動力、判断力があったからこそだと日々感謝した一年でした。

また、今年 7 名の新入職者との出会いがあり長年悩まされたマンパワー不足が改善された一年でした。7 名の新入職者だけでなく 2 病棟全スタッフが働きやすいと感じる職場環境づくりを今後も継続していきます。

～未来に向けて～

今後も変化に強い 2 病棟であるためには、部署間の垣根を超えて他職種スタッフとコミュニケーションを図り一丸となることです。煩雑な中であっても笑顔があふれ楽しく、やり甲斐のある病棟になるよう自分自身が意識し、しっかりと取り組んでいこうと思います。

2022 年も 2 病棟をよろしくお願いします。

2021 年振り返りと未来に向けて

3 病棟師長

2021 年は、前年から続くコロナの影響で、長く病院内に面会のご家族の姿を見ることが出来ませんでした。年末になりようやく笑顔で面会される場面を見かけることが出来るようになりました。どうかこのまま、以前の生活に少しでも近づくようにと祈るばかりです。

今年 3 病棟では、医療区分に関しては毎月 8 ～ 9 割を保つことが出来たものの入院患者数が伸びず、1 ～ 11 月までの月平均が 26 名でした。

在宅復帰に取り組んだこともありますが、今後は 30 名を超える数値で推移できればと考えます。

さて、この春より学生から看護師となった 2 名の仲間は、日々経験を重ね成長を続けています。指導に当たってくれるプリセプターはもちろん、周りのスタッフみんなに感謝です。

今後も協力し、各々が新人に負けないように患者の看護・ケアに努めていきたいと思います。

来春、3 病棟は師長交代というひとつの節目というのでしょうか、変化を迎えます。

関わる全てのみなさまと、より一層の協力の元、新生 3 病棟が笑顔とやさしさであふれ、患者・ご家族に信頼される病棟であり続けられるよう、努力を続けたいものです。

「曲がり角の向こうには何があるかわからない。でもきっと、素晴らしいものがあると信じて曲がってゆこう～赤毛のアンより～」私の好きな言葉で未来に向けたいと思います。

「2021 年振り返りと未来に向けて」

リハビリテーション部課長

2021 年が終わろうとしています。リハビリテーション部の皆さん 1 年間ありがとうございました。
また、他部署の皆さんも大変お世話になりました。

今年度リハビリテーション部の目標は①メンバー間の連携・協力②部署内・病棟間の連携③個々の業務の完遂、①～③が達成できれば「働きやすさの向上」へ繋がると考えました。

①各委員会はコロナの為サイボウズ上で取り組んでいます。感染対策担当者委員会は感染予防の啓蒙やリハビリ部内で緊急時(嘔吐時)の対応について 3 班に分けて勉強会を実施しました。

接遇委員会は 3 か月毎にアンケートを実施し接遇に対して声掛けや啓蒙を行っています。他の委員も朝のミーティングで報告等活動をしています。

朝のミーティングは 7/19 から司会を回し、司会者はスケジュールの確認を行い進行しています。司会を経験することで司会者の立場を理解し参加姿勢が変わったと感じています。今後も継続していきます。

環境整備(消毒作り・パーテーション掃除など)や備品の補充の協力が増えています。病棟業務を優先して貰い、余裕がある時に協力して貰っています。

数名当直を行っている為、朝のミーティングに参加できない時がある為、重要な内容はサイボウズで送って欲しいとの要望があり対応していきます。

②毎月 PT・OT・ST、1・2・3 病棟、地域支援、POS 主任との話し合いを行い、情報の共有や課題について話し合い解決する様に取り組んでいます。

3 病棟は医療区分での入院の為、リハビリの単位が取り難い時期があり、1・2 病棟と連携し 1 セラピストの取得単位数は伸びており、11 月の実績は過去 6 か年で 1 番収益が伸びました。1 セラピストへ目標単位数を伝え、毎月取得単位数と平均単位数の表を回覧しています。

総合事業(通所型サービス A)は 5 月末で 1 名が終了となり、現在休止中です。美里町より来年度の実施依頼があり、予算案を提出しました。通いの場の運動指導は森 PT と協力して 4 月より 12 月まで 18 か所の運動指導を行いました。地域ケア会議で PT・OT が参加して助言しております。

③実施表の入力を全病棟 PC 上で行うようになり月末集計など業務の効率化ができました。リハビリカルテを無くす為、PC にリハビリ書類のフォルダを作成しデータの移動を行い活用していきます。

先日、両親の姉たちに会って来ました。大正 13 年生まれの伯母は一人暮らしをしていましたが、5 年前の熊本震災を機に施設入所となりました。週に 3 回デイサービスを利用し楽しく暮らしています。

昭和 9 年生まれの伯母は今年 87 歳となり子供や孫など 30 人集まって米寿祝をして貰ったようです。

大正 14 年生まれの伯母は認知症があり、現在施設入所しています。家族は本人へ寄り添い尊重しながら生活をしていると感じ、伯母たちの長寿を願いながら帰って来ました。

令和 2(2020)年の美里町の高齢化率 44.2%から、団塊の世代(1947～1949 年生まれ)が 75 歳以上となる令和 7(2025)年には 50.8%となり、団塊ジュニア世代(1971～1974 年生まれ)が 65 歳となる令和 22(2040)年には 50.6%まで上昇する見込みとなっています。

これからも相手の気持ちに寄り添い、その人らしく人生を過ごされる上で治療や予防で関わって行きたいと思います。今後も職員より医療法人愛生会へ家族や知り合いを「入院させたい」「利用させたい」と思って頂けるように、地域に根ざした医療や福祉を提供し続けられるように取り組んでいきます。

来年もどうぞよろしくお願いいたします。

「2021 年振り返りと未来に向けて」

薬局長

2021 年、仕事の面では始まりから終わりまで Covid19 の話題が多かったように感じます。3 月には医療従事者からワクチン接種が始まりました。日本で初めて取り扱うワクチンでしたので製薬会社・厚生省・他病院等から情報収集を行い、管理の方法、払い出しの方法、使用方法などをまとめ、ワクチン管理手順書などを作成しました。薬局内の誰が関わっても同じように取り扱える事を目標とした結果、病院として大きなトラブルやミスもなく、2 回目接種までは無事に一旦終わることができたのかなと思います。来年度に関しては、3 回目接種の人、1 回目や 2 回目接種の人も混在し、また別のワクチンなどの選択肢も増えてくることが考えられます。今まで以上にきちんと情報管理を行い、薬局内や院内でのトラブルやミスが起こらない体制作りを目標に気を引き締めたいと思います。

一方、薬局業務に関しては、薬剤師や助手など関係なく効率的な薬剤業務を目指し、それぞれの意見を取り入れながら日々進化しているように思います。加えて、ミスが起こらないように意識を高く持つという点ではヒヤリハット体験報告書も薬局内で最低月平均 10 枚以上を出しております。これに満足せず、まだまだ報告数を増やし意識を高めたいと思います。

その他に今年は後発品メーカーの品質不正などの不祥事やコロナ禍における原薬不足なども重なり、医薬品の需給バランスが崩れ、私が薬剤師になって初めてともいえるほど全国で医薬品不足に陥っています。不祥事を起こしていない他社の医薬品でも個々の会社の生産能力を超えた発注が相次ぎ、出荷調整をするメーカーが増え、医薬品市場で医薬品の供給不足が問題となる状況は現在も続いております。院内の薬品を管理することも薬局の大切な仕事です。院内の採用薬に支障が出ないように早めに発注をかけ、また、医薬品卸と情報共有を行うことでほとんど採用薬が不足する事態にはなりません。昨年も書きましたが私の中では「病院での当たり前の毎日を守る」というのを一つの信条にしております。当たり前の毎日を守るためにまだまだ準備・改善できる部分はあると思いますので、今後も薬局業務での足りない部分を補うためにも個々のスキルアップをしていきたいと思います。さらに病棟業務では、特にもう一人の薬剤師と私で取り組むことにはなりますが、指導算定件数を増やす努力を行い、少しでも患者に寄り添い、かつ病院の収益アップに役立てるよう努力を続けていきたいと思います。

高齢者医療には多職種からなるチーム医療が不可欠です。薬剤師の本来の役割は、患者の服薬に関わることで治療効果を高め、副作用の有無、指示どおりの服薬の可否、患者個々の服薬能力等を評価し、さらには、服薬後の経過を確認しながら次の薬物療法のサイクルを適正化することにあります。患者のために何ができるかを常に念頭に置いて、医師、看護師をはじめとした多職種の皆さんの協力を得ながら薬物療法の適正化に取り組んでいきたいです。

最後に薬局より、

今年も一年お世話になりました。来年もご指導をどうぞよろしくお願い申し上げます。

2021 年振り返りと未来に向けて

総務課長

今年は、2021年度の愛生会テーマである「連携と協力を深めよう」にふさわしい年でした。コロナワクチン接種はまさにこれを象徴したものであり、連携と協力がなければ成しえなかったと思います。

総務課では、ワクチン接種に必要な備品の購入や会場の設営、駐車場の確保、受付、待機場所への案内、他医療機関を含めた注射針・注射シリンジ等医療備品の小分け作業、注射シリンジやワクチンロット番号変更時の外来や薬局への報告、v-sys への実績打ち込み等行いました。総務課は給与・経理・労務・設備備品管理等一人で担当業務を持っている者も多く、また外来送迎や環境整備、院内の安全管理等、業務の合間を見ながらみんな快く協力してくれました。

上半期では、ルーチン業務の他 32 項目の様々な課題に対応しました。外部業者との調整が必要とするものも多い中、優先順位を考え各担当者はできるだけ早く改善できるよう努力しました。また最近では、病棟の支援を保育室が行うようになりました。総務課として微力ながらも貢献できているのではないかと思います。

今年度、二人の総務課職員が退職し新体制となりました。また、1・2 係が一つの部屋に集まりました。一人一人が現状に満足せず、如何に業務改善を行うかを話し合っている姿を見ると、今年度のテーマが浸透しているのではとうれしく思います。その一方で、私自身ももっとしっかりしなければとあらためて身が引き締まる思いです。

～最後に総務課の皆さんへ～

「次々に課される課題に対し、いつも一生懸命応えていただき本当にありがとうございます。近い将来必ず来る皆さんが中心となる時代に、より良い病院となるようみんなで努力し、盛り立てていきましょう」

なかなか感謝の気持ちを伝える機会がありませんのでこの場をお借りしてお伝えします。

2021 年振り返りと未来に向けて

外来主任

2021 年は激動の 1 年でした。

発熱外来対応、水晶苑回診開始、コロナワクチン接種・・・と、一度に複数のシステム作りとその対応を迫られ、自分自身かなり混乱しキャパオーバーで涙することもありました。

発熱外来においては、電話相談件数も多く午後の予約がいっぱいになることもありましたが、先生方や検査科、医事課スタッフの皆さんと一緒に協力することができ、スタッフの感染者を出すことなく何とか乗り越えることができました。

水晶苑については、新たに嘱託医としての役割を当院が担うことになり、回診システム作りや回診日程の調整、水晶苑との調整（配置薬やその請求・残薬確認方法等）などたくさんのことを行いました。

現在は、外来スタッフ全員が対応できるように担当を振り分け、毎週回診に伺っており、軌道に乗っている状況です。入所者の状態報告や相談等で 1 日に何回も毎日のように電話がかかり、その対応にも苦慮していましたが、情報伝達の方法を緊急性に応じて区分し、それを水晶苑と共有することで、電話対応の負担は以前に比べると軽くなってきています。まだまだ問題点はありますが、入所者の方々の不利益にならないように出来るだけ対応していきたいと思っています。コロナワクチン接種については、「ゼロ」の状態からのシステム作りをしなければならず、薬局・医事課、そのほか病院中のスタッフに助けられ、今までやって来られました。本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。村井先生のご指導をいただきながら接種時の動線や方法を検討・改善し、医療従事者・高齢者・地域住民接種と、のべ 3600 回以上の接種回数を実施することができました。最初はおもたあたふたしていましたが、最近では手際よくスピーディに出来るようになってきたと思います。

先日医療従事者の 3 回目の接種が始まりました。今後、ファイザーとモデルナの 2 種類のワクチンの対応をしなければなくなるかもしれません。慣れてきたときだからこそ、原点に返り、ミスが出ないように確実に安全な接種業務が出来るようにしていきたいと思っています。

外来では、問診時に爪の異常や困っていることをお聞きし、フットケアにつなげており実施件数も増えてきています。フレッシュハーブやドライハーブをお湯に散りばめ、抗真菌作用やリラックス作用のあるアロマ精油を入れ、心地よい足浴の実施に取り組んでいます。

「お姫様、女王様みたい！」、「こんなことしてもらったの初めて！」ととても喜んでいただいております。口コミで患者さんを紹介していただけたこともありました。

今後も患者さんの困ったことに耳を傾け、お手伝いが出来たらと思っています。

病院環境としては、現在待合室にアロマディフューザーを設置していますが、今後は、オムツ交換時の悪臭対策や入院環境の空気の清浄化、入院患者さんのリラックスに繋がる様に、アロマスプレーなどを取り入れていけたらと考えております。

外来は 4 人と少ない人数で、「後で」ではなく「今」の対応を求められるため、大変なことも多々ありますが、スタッフみんなが協力して仕事ができていることに、本当に感謝しています。また、看護部長、看護部 Ns には度々ご支援をいただき感謝申し上げます。

私個人としては、今年は一月二日の次女の成人式に始まり、長男の高校卒業・看護学校入学・・・と、親として忙しい年でした。年明け早々には次男の高校受験が控えており、まだまだ心配は尽きません。同居の義父・母の「老い」も実感し、子どもの成長と同時に親の介護がもうそこまで迫ってきています。私自身、若い時とは違い無理がきかない身体と心に老化を感じますが、マラソンのようにペース配分し頑張っていきたいと思っています。

2021 年振り返りと未来に向けて

臨床検査科主任

2021 年は、やはり新型コロナウイルスでした。新型コロナウイルスの世界的拡大は、私たちの生活が一変しました。もう、マスク無では、人に会う事は考えられない日常です。感染も拡大しましたが、同時にワクチン接種も国内で進んだ 1 年でした。コロナウイルス対策が少しずつ進んでいるのが感じられる年だったと思います。

今年の前半は、感染拡大の度に緊急事態宣言等が行われ、全国感染者が増加すれば熊本県の感染者も同じように増加していました。県内感染者の増加に伴い、当院の発熱外来患者も増加という状況でした。発熱外来を受診される患者さんの多くは、検査結果を不安気に待たれていたように思います。

2020 年 11 月～開設した発熱外来も 2021 年の 1 年間で、やりながら何度も問題点を改善し、ワークフローが出来上がっています。これも他部署の方の協力があり、本当に感謝しています。そして、もう一人の検査技師には、発熱外来立ち上げ当初より、不安もあったと思いますが、いつも前向きに取り組んでくれて、大変感謝致します。

他にも検査課としては、検査依頼書の変更や生化学検査項目を数項目ですが、測定方法を変更し、より精度の高い検査値報告になりました。また、企業健診の方も、企業様の希望に沿った対応を心がけてきました。

未来に向けて・・・

今後も、3 回目コロナワクチン接種やコロナウイルス変異株等、問題はあるかと思いますが、常に新しい情報収集に努め、業務に生かしていこうと思います。

検査課は、2 人という小さな部署ですので、他部署の協力なくてはできないことも多いと思います。2022 年も、みんなで協力し頑張っていきたいと思っていますので、よろしくお願い致します。

2021 年振り返りと未来に向けて

栄養科主任

今年もあと僅かですが、新型コロナウイルスと闘い耐えに耐えた 1 年でした。コロナワクチン 3 回目接種も始まりました。なるだけ不要不急の外出は控えて「ステイホーム」が定着しました。苦しいことばかりではなく、今年一番の感動は「東京オリンピックパラリンピック」の開催でした。若い選手の活躍、新種目の金メダル、過去最多メダル獲得数など国中が感動と興奮に包まれ、元気をなくしていた私達に勇気と希望を与えてくれました。日本開催、無観客と不思議な光景でしたが、終ってみれば、コロナ感染予防も徹底された大会で、日本人のやさしさ溢れる「おもてなし」を世界の方達に伝えられたことは日本人として誇らしく思いました。

栄養科のハード面では老朽化に伴う業務用冷蔵庫、洗浄機、下処理室のエアコンが新しいものに取り換えられ、調理従事者のトイレを洋式に改修して頂きました。

栄養ソフト日本栄養食品成分表 2021 八訂となりスマート栄養計算を入れて頂きました。ウェブ勉強会は机上で気軽に出席できる新たな勉強会の形式で「誤嚥性肺炎の予防・とろみ調整用食品の役割とその意識・一歩踏み出す栄養管理」など多数できたことはとても有意義でした。

2020 年 21 年と保健所の立ち入り検査はありませんでしたが、5 月に委託業者の栄養士と一緒に「営業許可証」の申請に係る保健所からの立ち入り検査に同行して厨房内を説明しました。「営業許可証」は下りましたので、引き続き患者様の食事を提供できるということで安心しました。

未来に向けて

栄養科の目標は常においしく安全な食事の提供です。近年の入院患者様の嚥下低下、栄養状態低下の方が多くそれに伴う調理作業は煩雑になっています。それに伴い調理従事者の高齢化も進んでいますので、今後も愛生会を支える全てのスタッフが、健康に過ごせる働きやすい職場であって欲しいと願います。またもう一人の管理栄養士も迅速な対応と丁寧な仕事ぶりで安心しています。私もあとしばらくは頑張りたいと思っています。

最後にコロナ禍の手洗い消毒、マスク着用を行い感染予防に努めていきコロナ感染者ゼロになり、世界中の「コロナ絶滅」のニュースが流れるのを心待ちにしたいと思います。

「2021 年振り返りと未来に向けて」

医事課長

2021 年もコロナ禍での 1 年となりました。

3 月 10 日よりコロナワクチン接種が始まり、医療従事者・施設入所者・町民接種が 10 月 13 日まで行われました。

初めての事で、スムーズに行えるのか不安でしたが、皆で試行錯誤し、やり方も色々と変更しながら 1・2 回目の接種は無事終わることが出来ました。

無事に終わることが出来たのも皆さんの協力があったの事だと思います。

感謝しています。

医事課としては、コロナワクチン接種はもちろんですが、データ提出加算算定に向け、システムの追加・データ作成等苦戦しながらも 10 月より算定開始出来ました。

今後も、データ入力は本当に大変ですが遅滞なく提出出来るように頑張ります。

～未来に向けて～

2022 年 4 月には医科診療報酬改定があります。

セミナー等に参加し早めに情報収集を行い、当院にとってプラスになるにはどうしたらいいのかを考えていきたいと思います。

又、12 月からは 3 回目のコロナワクチン接種も始まりました。

前回の経験を生かし、よりスムーズに接種が出来るように皆で協力しながら行っていきたいと思います。

2022 年医事課はチームワークを大切に、和気あいあいとした部署を目指して頑張ります。

2022 年も医事課をどうぞよろしくお願いいたします。

「2021 年振り返りと未来に向けて」

地域医療連携室主任

昨年同様今年も新型コロナウイルスは終息できていません。近隣病院・施設でクラスターが発生し、何時自身も気づかない内に感染するのではと不安に感じました。しかし、ワクチン接種や新規感染者数の減少で面会が緩和され、患者さん・ご家族の嬉しそうな顔を拝見できてこちらも元気をもらえました。個人的には平板でない 1 年で、健康であることのありがたさを感じました。私が不在の際にはもう一人の MSW には限りなく迷惑をかけてしまいましたが、周りの方々の協力もあり乗り切っていただいたことに心からの感謝を伝えたいと思います。これからも 2 人の部署であるためお互い大変なことが起きた際は協力していきたいと思います。

地域医療連携室の 1 年を振り返ると、やはりコロナウイルスと切り離せません。コロナ感染治療後の患者さんの受け入れは 2 名でした。感染者数がピークの頃コロナ感染患者を受け入れている病院の MSW と話す機会があり、「病床を減らして対応しており、早めの退院を勧めている。」と聞き、「ご相談いただければ早めに対応しますよ。」お伝えしましたが相談には繋がりませんでした。4 月より水晶苑の嘱託医となり、水晶苑よりの入院患者数は 12 月 15 日時点で 20 件（2020 年は 3 件）と約 7 倍増なっています。3 病棟の在宅復帰機能強化加算も継続できていますし、緊急入院の際も各病棟の協力があり受け入れできています。改めて関係部署の方々には感謝申し上げます。

2022 年は一期一会を大事にし、関係部署の方々の協力を得ながらやっていきたいと思っています。どうぞ地域医療連携室をよろしくお願いいたします。

2021 年振り返りと未来に向けて

訪問看護課主任

今年は感染対策として、電子カルテの導入と zoom での朝のミーティングなど ICT の活用にチャレンジさせて頂きました。電子カルテへ移行期間中はスタッフみんなで意見を出し合い、業務効率化も図りながら特に大きなトラブルもなく移行できた一年でした。

非日常が日常となった年でもあり、マスク、フェイスシールドの着用、手指消毒が訪問先でも当たり前の事となり顔が見えない事で利用者様に顔を覚えて頂く事が難しく以前よりも信頼関係作りにも苦労したと思います。また、蜜を避け人と人との距離をとることで心が離れる事がないようコミュニケーションの大切さも学んだ年でもありました。表情が見えない分、声のトーンや話し方、聞く姿勢などに気を配りながら、今後も利用者様やそのご家族様、他事業所との関りを大切に、信頼して頂けるステーションを作っていきたいと思います。

そして今年は急遽、管理者を交代することとなり、新体制となった『訪問看護ステーションきらり』ですが、まだまだ不慣れで分からない事が多く、ご迷惑をおかけすると思いますが失敗を恐れず新たな学びを今後に生かしますようスタッフみんなで協力し努力していきたいと思います。またみんなが働きやすい環境作りと、雰囲気の良いステーションで新たな仲間が増える事を願っています。

「2021 年振り返りと未来に向けて」

在宅総合ケアセンター次長

新型コロナ感染に戦々恐々とする中、2021年は介護報酬改定もあり、在宅の職員をはじめ愛生会の職員の方々には大変お世話になった1年でした。

新型コロナワクチン接種では、初めてのことで病院の関係部署に於かれましては在宅職員や木香館・コミュニティの入居者共々混乱もなすスムーズに且つ重篤な副作用もなく無事に完了しました。3回目の接種も宜しくお願い致します。

介護報酬改定においては、ケアセンター課長の下、在宅の職員の方には加算取得に向けLIFEの整備をし、4月から加算の算定をスムーズに行うことができ少しでも増収にと努めていただきました。その他の事業所でも試算をするなどして今年度の増収に向けて道筋を定めて頂きました。

しかし、昨年在宅全体で下半期の収益が激減し、年間での収益が赤字となる結果となりました。そのため今年は通所リハビリテーションでは下期の目標を利用者数月間85名、デイサービスは、1日利用者数20名を目標と定め、院長をはじめ事務長からのアドバイスを下に日々奮闘中ではありますが中々数字が上がらず苦慮しております。職員の方はその目標にモチベーションを高め業務を遂行している姿が最近見られてきました。

又訪問看護や訪問介護は急な職員退職による人員の減少にも、利用者の為、収益の減少を最小限にするために業務をこなしていただき、居宅では人員1名増やし各サービスの増加につなげようとしていますが募集もない中受け持ち人数を最大限近くまで受け持ち在宅を盛り上げていただきました。

来年はこの目標を達成することと職員の増員に尽力し、将来を見据えて美里町や病院、水晶苑をも巻き込んだ利用者・患者のサイクルの流れを構築すべく取り組んでいきたいと思います。

「2021 年振り返りと未来に向けて」

ケアセンター課長

今年、ケアセンター課は4名の方との別れ(退職)、4名の方との出会い(入職)がありました。

退職された方々には新しい取り組みや業務改善のためのたくさんのアイデアをいただき感謝しています。

新たに仲間に加わった方には、おんじゃくを選んでもらった感謝と新しい風を入れてもらいケアセンター課飛躍のために力を貸していただきたいと期待しています。

さて、今年1年を振り返るとコロナ感染を予防するため通所系サービスの利用を控え、訪問系サービスを利用する方が増えてきたように思います。

その中でスタッフが産休で減ったのに、利用件数は増えた訪問介護は歯を食いしばって頑張ってくれました。少ないスタッフ数で効率的にサービスを提供するためミーティングではたくさんの意見交換により改善できた点も多かったと思います。なかなか休みが取れず体力的にもきつい日が続いていますが、文句一つ言わず笑顔で利用者のためにサービスを提供していただき感謝しています。

通所系サービスは介護報酬改定によりLIFE(科学的介護推進体制加算等)の4月から加算算定をしてもらいました。システムに慣れるまで遅くまで入力作業がかかったり、計画書様式の変更により全利用者計画書を作成し直したりと加算算定の指示に対して迅速に対応してもらったこと感謝しています。

通所リハビリでは、短時間リハビリ(1時間以上2時未満)の受入れを拡充したことにより要支援利用者が増えました。そのために総務2係にも午後からの送迎を協力してもらおうと共に午前1便・午後もう1便送迎を増やしました。利用者の希望に添える時間帯での利用を行ってもらい感謝しています。

通所介護は新規利用者の増加により、利用定員25名近く利用してもらう日も増えてきました。人員規定ギリギリのスタッフ数の中で業務を工夫したり、送迎コースを何度も検討してもらったり新規依頼も嫌な顔せず引き受けてもらったことに感謝しています。

ケアセンター課の2022年は、「継往開来」。

古き良きシステムは残しつつも、利用者の幅広いニーズに寄り添えるようにソフト面・ハード面ともに改善・発展させながらサービスの充実を図っていききたいと思います。

2021 年振り返りと未来に向けて

居宅介護支援事業所主任

居宅には今 4 人のケアマネがいます。

ケアマネはケアマネジメントの専門職として利用者の自立支援のためのケアプラン作成はもちろん、入退院時・通院時のサポートをはじめとした医療・介護連携の促進や、介護保険以外のサービスへの対応、家族介護者や世帯全体への支援、台風等災害時や利用者・介護者の急変時等の臨機応変な対応、認知症に起因する生活課題を抱え、虐待や経済的な相談支援も増えています。

ケアマネに求められる社会的な役割はどんどん拡大しているように思われます。

このような中で 2021 年も地域から信頼され、多くの新規利用者の依頼があっています。ご協力いただいた医療機関、介護サービス事業所、地域包括支援センター等、皆様に感謝します。

ケアマネはそれぞれが自分の担当を持っていますが、日頃から困難事例等みんなでよく話し合い、いろいろな情報の共有を図り、分かち合うことで多くの経験を積んでいけるように、アドバイスし、フォローし、一人にしないチーム運営をしています。

居宅のメンバーはかなり高齢化していますが、これからも若々しく頑張ります。よろしくお願いいたします。

2021愛生会のあゆみ

	できごと・行事	しくみ・制度	ひと	もの・設備	情報発信・収集	その他
1月		発熱外来・電話相談体制	全介護職員面談	ミーティングルームモニター設置	宇城新聞1月号「唾液癌スクリーニング検査」	
				リハ棟・保育室トイレウォシュレット取付		
				病棟・外来車いす11台新規入替		
2月	園児節分豆まき	訪問看護システムクラウド版・iPad導入		通所介護テーブル入替購入6台		外来待合室アロマテラピー導入
		水晶苑嘱託産業医派遣契約		通所リハビリテーブル入替購入3台		
				在宅総合ケアセンター空気清浄機新規購入6台		
				栄養科調理室休憩室改修工事		
				公用車ミラ2更新		
				フリーWi-Fi設置		
3月	桜ライトアップ	医療従事者コロナワクチン接種開始		駐車場外灯改修工事		
	園児病棟慰問	電話相談体制終了		電力会社出光昭和シェルへ変更	宇城新聞3月号「通所リハ」	
				デイスサービス旧厨房撤去リハビリ室設置工事		
				データ提出加算算定に伴うJ-MIS機能追加		
				食洗器購入（木香館・デイケア）		
4月				ブラインド更新（本館1階・リハ棟15か所）		
		水晶苑嘱託医委託	看介護部人事異動	1階職員女子トイレ新設・男子トイレ改修		介護報酬改定＋0.7%
			2病棟看護主任 前田香菜 着任	栄養科食器洗浄機更新		
			外来主任 酒井香織 着任	2病棟大型吸引機購入2台		
5月	消防訓練		訪問看護主任 長木美保子 着任	3病棟南側系統エアコン更新		
	オリジナルお薬バック無料進呈		総務課2係主任 舩田泰治 着任	駐車場舗装・ライン引き工事	宇城新聞5月号「通所リハ」	
			目標面接	2病棟南側系統エアコン更新		
				2病棟車いす他10台・3病棟2台購入		
6月				公用車そよかぜ・たんぼぼ買い替え		
		高齢者コロナワクチン接種開始 基本型施設	部所属長面接	コミュニティハウス通路照明変更		
				2病棟・3病棟職員休憩室改修工事（畳の張替え・壁紙の張替え・テレビの壁掛け等）		
		美里町集団接種開始6月～10月		公用車8台ドライブレコーダー設置		
				厨房内冷蔵庫更新		
7月				公用車在宅用ミラ2台購入		
		夏季賞与支給		病棟ストレッチャー用体重計・車いす用体重計3台購入		
				おそうじかんばにー休憩室畳新調	宇城新聞7月号「通所リハ」	
				病棟敷シーツ変更		
8月				サイボウズOffice10更新（5年）		
	コロナウィルス第5波		看介護部人事異動	病棟電動ベッド入替購入60台		
	コロナウィルス職員・家族感染			カラー複合機更新（リハビリ・木香館）		総務課室・事務長室設置
				1階女子更衣室・薬局エアコン更新		ICT導入補助金確定
				パソコン10台更新		
9月				外来診察券購入		
	祝100歳表彰式（2人）	ドライブスルーPCR検査開始		総務課机6台・椅子6台更新		
	敬老の日園児ダンス発表会			病棟スイングアーム介助バー20台購入		
				事務衣類乾燥機購入	宇城新聞9月号「通所リハ」	コロナワクチン個別接種促進事業費補助金確定
10月				コミュニティエアコン更新	広報誌おんじゃく発行	
	介護医療院入居者園児芋ほり大会	データ提出加算算定開始	中間面接	栄養科職員トイレ改修工事		
		コロナワクチン2回接種終了3月～10月3,672件		カラー複合機更新（事務室）		
		病棟面会緩和		PCA人事給与ソフト更新	安成医院コロナワクチン接種視察	肥後銀行長期借入利率引下げ
11月		インフルエンザワクチン開始		ガス給湯器更新（1病棟・デイスサービス）		介護基盤緊急整備特別対策事業補助金確定
			人事異動看介護部			熊本銀行当座貸越利率引下げ
			3病棟副師長 三浦亜由美 着任	介護医療院1病棟改修工事着工	宇城新聞11月号「睡眠時無呼吸症候群」	コロナワクチン個別接種促進事業費補助金確定
			部所属長中間面接	2病棟西側火災感知器更新	医療法人協会事務長会病院運営勉強会	ICT導入補助金確定
				公用車タント3更新	東病院コロナ患者対応視察	
12月				窓ガラス・網戸清掃		
	消防訓練	コロナワクチン3回目接種開始	3病棟職員面談	外来受付サーモグラフィカメラ設置	広報誌おんじゃく発行	熊本大学病院寄附金
	2021年愛生会感謝の会	冬季賞与支給	保育士助手業務病棟支援	病棟ストレッチフィットマットレス新規リース15本		WAM独立行政法人福祉融資
						肥後銀行当座貸越利率引下げ
						熊本県障害児・者親の会寄附金

新入職者コメント

外来 看護師

明るく穏やかな職場だと思います。

スタッフの皆さまに支えられ頑張ることができ、感謝しています。

今後は、他部署との連携を取りながら、温もりのあるケアを実践していきたいと思います。

また、院内のアロマテラピー導入についてすすめていけたらと考えています。

2病棟 看護師

4月より入職し、忙しい中一つ一つ丁寧に愛情を持って教えて下さる先輩方の温かさに支えられ、あっという間に時間が過ぎていったように感じます。

2病棟は脳神経内科の患者さんも多く、患者さんのADLや状態は常に変化していきます。患者さんと毎日真摯に向き合うことで自分自身の成長に繋がるよう努力していきたいと思います。

2病棟 ケアワーカー

入職してからの感想は、患者さんの話を聞かせて頂き、患者さんが話を聞いてほしいという事を感じ、もっと患者さんの為に力を注ぎたいと思いました。

一人で過ごしたい方や誰かと話をしたいという方、いろんな方がいらっしゃいます。より身近にいるからこそ、一人ひとりの気持ちに寄り添い、共感し、傾聴する大切さを学びました。

今後は経験を積みスキルアップを目指しながら、患者さんが安心した入院生活を送られる様に考え、行動をしていこうと思います。

2病棟 看護師

私は、臨床現場への復帰の不安が強かったのですが、先輩方が優しく、同じことを尋ねる事があっても、初めての時と同じように教えてくださったことが、私にとって非常に有難かったです。また、フランクに接していただいたことで、素直に自分を出す事ができました。患者様にも、好みや意向を汲んで大切に接しておられます。そのような環境ですので、私も一緒に看護することを楽しく感じています。今後も患者様の満足度向上のため、がんばりたいと思います。

2病棟 介護福祉士

入職してから約8カ月が経ちやっと仕事に慣れてきたかなと感じます。いろいろな患者様がいる中でどんな対応をした方がいいのかわからない時が多々ありますが、先輩スタッフに相談すると親身になって対応方法などを考えてくれるためとても働きやすい環境だと感じました。また私の娘は託児所を利用して、以前通っていた保育園には「行きたくない」と朝から泣いていたのですが、くるみ保育室に通うようになって「今日保育園行く！！」というようになり毎日楽しく登園している姿を見て母としてとてもうれしい気持ちです。

今後は先輩方の技術と知識を見習い自分のものにできるよう頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。

2病棟 看護師

入職し早くも4ヶ月が過ぎようとしています。2病棟での業務に戸惑う中、医療器具の取り扱いや、マニュアルなどについて、丁寧な指導を受けながら学びと反省の毎日です。患者に寄り添える看護を心掛けながら、焦らず一つ一つ習得していきたいと思います。

2病棟 准看護師

8月1日より温石病院で働くことになりました。温石病院で勤める前は、医療から1年半程離れて仕事をしていました。

これまで、一般病棟、障害一般、療養、精神での病棟経験がありましたが、短期間で転職してしまいました。温石病院の先輩方は優しく指導して頂いているので、先輩方の笑顔やフォローに助けられています。病棟のチームワークがとれているから働きやすい部署だと思います。

スタートしたばかりで病院の事はまだまだ分かりませんが、日々精進しますのでご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

2病棟 看護助手

病棟勤務になり、不安でいっぱいでしたが、スタッフの皆さんに支えられ、早や10ヶ月が過ぎました。

入退院が重なり大変な時もありますが、少しでも病棟の力になれる様取り組みたいと思います。

総務2係 スタッフ

6月に入職し早半年が過ぎました。毎日が戸惑いと緊張の連続ばかりでしたが、先輩方のご指導のお陰で上手く業務が出来ました。まだまだ覚えることが沢山ありますが早く一人前になれるよう頑張ります。

総務2係 スタッフ

半年が経ちました。少しずつ慣れ病院利用者の方々に、尚一層明るく思いやりのある対応で務めて参りたいと思います。

保育室 保育士

入職してから早くも6ヶ月が経ちました。保育士として経験もまだまだ浅く、未熟な点が多い私ですが、保育室の先生方をはじめ、他部署の方々、保護者の皆さまには暖かく接して頂き、感謝しております。新しい環境で分からないことも多々ありますが、その都度丁寧に優しく教えて下さる先生方や、個性豊かな三人の可愛い子どもたちのおかげで、日々楽しく業務させて頂いています。今後も子ども達の成長に負けないくらい私も日々成長していけるように頑張りますのでよろしくお願いします。

医事課 スタッフ

入職してあっという間に4ヶ月が経ちました。
不慣れな事もあり、戸惑いばかりの日々ですが、皆さんの“笑顔”や“何気ない会話”に元気をもらい、頑張っています。
早く仕事を覚え、戦力になれるように、努力しますので、どうぞ宜しくお願い致します。

1病棟 准看護師

今年1月に入職し、1年が経とうとしています。
仕事に慣れたのかよく分かりませんが、早く仕事を覚えて毎日楽しく働きたいと思っています。今後ともよろしくお願いします。

看護部 歯科衛生士

入職して5ヶ月が経ちました。私は各病棟に行ってマウスケア等させて頂いているのですが、患者さんの口腔やマウスケアについて話しかけて下さりとても仕事がしやすいです。
まだまだ勉強不足な所もありますが、一生懸命頑張ります。
今後も、宜しくお願いします。

看護部 看護師

4月に看・介護部に入職しました。

入職後、約2週間ずつ各病棟と外来を研修で回らせていただきましたが、まだまだ面識のない職員の方もいらっしゃると思います。

入職して間もないころから、当院の規模や利用される患者さんの背景、生活圏を共有していらっしゃる職員の方も多いのか、とてもアットホームな病院という印象を抱いています。

また、当院は美里町や近隣の市町を見ても、地域にとってなくてはならない病院だとも感じています。

今後、そうした病院であり続けるためにも、慣習にとらわれず、小さなことでも変化し、チャレンジしてみることへの提案をしていければと思っています。

私自身が、当院での存在価値を感じられるようになるためにも、少しずつ取り組んでいけたらと思っていますので、今後ともよろしくお願いいたします。

木香館 スタッフ

今まで事務関係の仕事しかしてこなかったため、全く分からず、手探り状態でした。しかし、入居者のみなさんやスタッフの方々のおかげで毎日奔走しながら、汗だくで楽しく頑張っています。

入居者の方に寄り添えるように一緒に楽しみながら、過ごせて行けたらと思います。これからもご迷惑をおかけすると思いますが、宜しくお願い致します。

通所リハビリ ケアワーカー

介護の仕事は初めてで覚えることも多く、毎日があっという間に過ぎ8ヶ月が経ちました。失敗することが多いですが、皆さん優しく明るい職場なので楽しく過ごしています。これからさらにたくさんのことを学び頼ってもらえるように頑張ります。

通所リハビリ ケアワーカー

入職して5ヶ月あっという間でした。明るい雰囲気の中スタッフの方々に丁寧にサポートしていただき感謝しております。

これからも利用者としてしっかり向き合いながら丁寧な仕事ができるよう精一杯頑張りたいと思います。

通所リハビリ 准看護師

入職して3ヶ月経とうとしています。デイケアという慣れない職場に戸惑いでしたが、スタッフの皆様より明るく、楽しく、丁寧にサポートしていただきながら日々学んでいます。ご利用者のお手伝いができるように頑張っていきたいと思います。

【 5 年勤続者 】 これまでの振り返りとこれから

< 地域医療連携室 医療相談員 >

入職してから早いもので 5 年が過ぎました。入職した年に熊本地震が発生し、忘れられない 1 年目となりました。Dr、看護部長、病棟師長・看護師の皆さん・ケアワーカーの皆さん、他部署の皆さんのご協力があり、MSW という仕事を続けることができました。ご協力いただいた方々に心より感謝いたします。今後たまに（？）無茶振りするかもしれませんが、温かく受け止めていただけるとありがたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

< 介護医療院 准看護師 >

入職して 5 年が経ちました。入職後すぐに熊本地震が発生し、子どもたちの学校は休校となったため、実家に預けながら働いていたことを覚えています。入職したばかりで仕事を覚えなければいけない、早く慣れなければいけないという思いでした。元々准看護師の資格取得を目指し入職したのですが、働きながらの勉強、家事、育児は大変でした。ですが病棟スタッフはじめ、院長、看護部長、事務長など様々な方たちにご配慮いただき、仕事・学校・家庭の両立が出来たと思います。働きながら学ぶことで考えることも多くあり、どうせ資格を取るならもう少し頑張ろうと思い進学し、今年やっと卒業できます。まずは目の前の国家試験に合格し、看護師として温石病院に貢献できるよう、勉強を頑張りたいと思います。

< 介護医療院 看護師 >

定年退職後再就職してパートで働き、早 5 年過ぎました。年はとりましたが体力の続く限り今後も歌って踊れる美しいナースを続け、利用者さんが楽しく笑顔で過ごされるように関わっていきたいと思います。

< 介護医療院 助手 >

私自身、このようなお仕事をするとおは思っておらず、気付いてみれば入職して早 5 年になりました。今では子供も 2 人います。この 5 年間で子供のことや、産休などで皆さんにご迷惑を掛けることが多かったと思いますが、ここまでやってくることができました。これからも、出来る限り一生懸命病棟の皆さんの手助けが出来るように頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

< リハビリテーション部 言語聴覚士 >

まだまだ 5 年間という短い期間ですが、大変だったなと思う事の方が記憶には多く残っています。しかし 5 年間はあっという間に過ぎており、充実感も紛れもなく感じています。

これからも支えてもらっている温石病院の職員の皆様と共に自分に何が出来るかを考え、1 つでも多く能動的な行動を起こしていきたいです。

< 医局 医師 >

早いものでもう温石病院に務め始めてから 5 年がたちました。80 歳くらいまで働こうと思っていたのですが、まだまだ元気なので今ではあと 10 年ぐらいは頑張ろうかと思っています。その目標のため毎日のジョギングで体力の維持を図っています。今後ともよろしくお願いします。

【 10 年勤続者 】 これまでの振り返りとこれから

< 2 病棟 看護主任 >

2011 年に愛生会に入職し早 10 年が経ちました。入職して間もない頃は指導して下さる先輩方のように仕事出来るようになるのだろうかという不安もありましたが、少しずつ知識が高まったり技術が伸びたりと自分自身の成長を感じることができた 10 年でした。また、こうして子育てと仕事を両立することができるのも寛大なスタッフのおかげだと日々感謝しています。これからも微力ではありますが、看護師主任としての自覚を持ち師長補佐、スタッフ育成支援に努め自分自身のスキルアップに繋げていきたいと思います。宜しくお願いします。

< リハビリテーション部 作業療法士 >

入職当時はとても人見知りだった私ですが、温石病院の温かな職員、患者さん達のおかげでいつでも笑顔で人に接せられるようになりました。まだまだ頼りないことだらけですが、このおかげ様の気持ちを忘れずにこれからも頑張っていきたいと思います。

< リハビリテーション部 言語聴覚士 >

周りの方々に支えて頂き 10 年間過ごすことが出来ました。

まだまだ未熟な面もありますが、自分なりに成長していけるよう頑張りたいと思います。

< 在宅事務 スタッフ >

周りの方々に支えられ、あと一年あと一年頑張ろうと思いながら、気付けば 10 年が経過しました。

とても濃く充実した日々であったと感じます。

これからも相手の気持ちを考えて感謝されるよう、頑張っていきます

< 検査 臨床検査技師 >

子育てと同時に始まった温石病院での 10 年間、あっという間でした。

子供が幼い頃は仕事との両立でいっぱいでしたが、振り返れば恵まれた環境だったのかなと感じます。

これからも日々楽しく、頑張っていきたいと思います。

< デイサービス 准看護師 >

とても早く過ぎた 10 年でした。様々な出会いもあり、悩んだ時期もありました。これからも日々勉強と考え頑張っていきたいと思います。

< デイサービス 介護福祉士 >

あっという間の 10 年でした。日々いろんなことを学び成長することができました。

これからも笑顔で仕事をし、頑張っていこうと思います。

< 在宅事務 スタッフ >

オー・エム・エスで 7 年、引き続き愛生会で 10 年と・・・環境が良いので今に至っております。

思い返すといろいろな出来事があり、喜怒哀楽を重ねながらも時が過ぎてきたかのように思えます。愛生会に入り人生の先輩方や共に医療従事者の方々を身近に関われる事がとても私にプラスになっていますし、これからの自分の人生を考えさせられています。これからは、残りの時間を若い世代に繋げる仕事、又「ありがとう」と言われるような言動を心掛けて行きたいと思っております。

< コミュニティハウス ケアワーカー >

明るく和やかな雰囲気、素晴らしい人々に巡りあえ楽しい時間はあっという間に 10 年。

いろいろな出会いと別れ、悲しい別れもいくつかありました。

でもいろいろな方々と楽しい日々が過ごせていることに嬉しさ、幸せを感じています。

もうしばらく皆様の仲間として一緒に頑張りたいなあと思っています。

< デイケア 看護師 >

入職して 10 年。2018 年に入院・手術をしたときはスタッフ・病院の方々にお世話になり感謝しています。また、自分の看護観を見直すことができ大変有意義な時間だったと思います。

リハビリを行うことで筋力アップし、自宅での介護が軽減できたと、うれしい言葉をいただくことなどやりがいを感じることも多くあります。今後も益々通所リハビリが楽しく、活気ある職場になるように微力ではありますが仕事を続けていきたいと思っています。

< 2 病棟 看護師 >

こんにちは。

私は現在、2 病棟に看護師として所属している者です。

もうそんなに経ったのかとの思いですが、派遣から始まり 10 年を迎えてしまいました。

結婚後に転勤で県外を転々として参りましたが、帰省し、地元の環境に慣れつつの勤務の日々であった様に思い出されます。

これもひとえに同僚の皆様、先輩、幹部の方々の支えに心から感謝申し上げます。

今後共、よろしくご指導のほどお願い申し上げます。

【 15 年勤続者 】 これまでの振り返りとこれから

< 医事課 スタッフ >

23歳の時に、ある縁で医療事務の仕事に就くことになり、33年が経ちました。

28歳の時に勤務していたクリニックの院長先生に「医者と看護師には国家資格がある、医療事務に国家資格はないけどあなた達のお陰で美味しいご飯が食べられます！」と言って頂きました。その言葉で、今まで続けることが出来たと思っています。

温石病院にお世話になって15年、残りの数年を、楽しみながら精いっぱい頑張ります！

< 2病棟 介護主任 >

あっという間の15年、入職時は21歳で独身の私でしたが、今は3児の母になりました。

入ったばかりの頃は、先輩方にいろいろ教わることも多く毎日が楽しい日々でした。

今は後輩も増え、教える立場としてちゃんと教えられているか不安ですが、

自分らしく、患者さんに頼ってもらえるケアが出来たら良いなと思っています。

< 2病棟 看護副主任 >

入職して、早いもので15年が経ちました。改めて振り返ってみると、子育てに追われながらの仕事や資格取得とあっという間でしたがとても充実した15年だったと感じます。

こうやって仕事を続けてこられたのも、職場のスタッフの協力や支えがあったからこそだと思います。

今後も、自分のスキルアップはもちろん、自分自身が周りのスタッフを支えられるよう師長はじめ他のスタッフと協力して病棟を盛り上げて行きます。

これからも、現状を維持するのではなく日々邁進して行こうと考えています。

よろしくお願いいたします。

【 20 年勤続者 】 これまでの振り返りとこれから

< リハビリテーション部 理学療法士 >

周囲の方々に支えられ、入職から 20 年が過ぎました。

様々な経験のなかで、多くのことを学ばせてもらったことにとても感謝しています。これからもご迷惑をお掛けすると思いますが、皆さんと一緒に頑張っていきたいと思います。

【 25 年勤続者 】 これまでの振り返りとこれから

< リハビリテーション部 作業療法士主任 >

勤続年数 25 年といわれると自分でも驚きますが、振り返ってみると、結婚、出産、育児休暇もあり、子供二人連れて出勤して託児所の先生方にお世話になってた頃もありました。いろんな方に協力してもらいながら、その時々で仕事への取り組み方も変わり、なんとかここまで続けられたようにも思います。

まだまだ、至らないことも多々ありますが、みなさんに相談したり教えて頂きながら頑張っていければと思っていますので今後ともよろしくお願いします。

< 訪問看護ステーション 主任 >

あっというまの 25 年でした。

気が付けば知らない職員さんも増えましたが、見かけたら声をかけて下さい。

< 居宅介護支援事業所 介護支援専門員 >

何もわからない私をリハビリ助手として入職させていただいた、中央町温石病院、あっという間に 25 年が経ち、いろんな事がありましたが、今ではいい思い出ばかり、心から感謝しております。

あと、数年、頑張れるかわかりませんが、物忘れが進まないよう、若い人達に刺激を受けながら、皆様に迷惑をかけないよう、楽しみながら仕事を続けていけたらと思っていますので、よろしくお願い致します。

【 30 年勤続者 】 これまでの振り返りとこれから

< 3 病棟 師長 >

H3 年、まだ 20 代の私は、まもなく 1 歳になる娘と共にこの温石病院に入職しました。

それから 30 年。たくさんの患者さんや、共に働く仲間との出会いと別れを繰り返し、来年に 60 歳となる私は、人生のちょうど半分をこの温石病院で過ごしたことになります。

思い出はたくさんありますが、それはゆっくり振り返ることにして、これからもこの温石病院が、患者さんに愛され、地域医療に貢献できる病院であるとともに、職員が働きがいのある職場であるよう、今を共に過ごす仲間と共に努めたいと思います。

今までの、そしてこれからの出会いに感謝しながら……。

< 3 病棟 看護主任 >

7 か月の子供を連れて託児所のある当院に就職し 30 年が過ぎました。

家族の協力があったからこそ、仕事を優先し過ごせたのでまずは家族に感謝したいと思います。そして皆さんに感謝です。

これからは定年に向けて健康に留意し、一日一日頑張っていきたいと思います。

【 40 年勤続者 】 これまでの振り返りとこれから

< 介護医療院 介護福祉士 >

昭和 56 年に入職し早いもので平成、令和と時代は変わりました。楽しいことつらいこと沢山ありましたが、職場の方々のやさしい思いやりやいい環境だったこと、それから家族の支えがあり長く仕事を続けることができました。感謝しています。これからも健康であ仕事ができたらと思います。